



世界屈指の水都を潤す 湧水と清正公が生んだ水辺

日本の主要都市の中で唯一、地下水だけで市民の水道水を賅ってしまふ熊本市は、世界屈指の「水都」。そんな熊本市の湧水のシンボルであり、市民の憩いの場となっているのが江津湖です。

湖岸路を歩けば、湖畔や湖底のあちこちで清冽な水が湧き出ているのを目にすることができよう。この江津湖、もともとは湧水の湿地だったところを大名の加藤清正公が治水用の堤を造ったのがきっかけで生まれました。

都市のただ中にありながら多様な動植物を育み、散策や生物観察、釣り、舟遊び、湖水浴まで楽しめ、ミネラル豊富な水道水源……そんな奇跡のような湖が治水の副産物だったとは。平成28年熊本地震後、上流の池の水が洩れた事案もあり、湧水を守る市民活動も盛んに。湖を潤す水は阿蘇山麓に降った雨水が10〜20年かけて地下を旅してきたもの。過去と未来が交わる江津湖は、この地に生きる人々の心の風景でもあるのです。

文・イラスト・写真
市原千尋

Profile
全国2,600基のダムを含む日本の主要な池や湖沼11,000か所を車中泊で踏破。訪れた池の魅力を毎日ブログで発信。著書に「日本全国 池さんぽ」(三オブックス)。



【運営ブログ】水辺漫路
<https://bunbun.hatenablog.com>

「湧水池」アラカルト



まるいけさま 丸池様
養魚場の裏手にひっそりたたずむ信仰の霊池が、SNSによって絶景パワースポットとして全国から若者が訪れる池に。
●山形県飽海郡遊佐町



あしき 赤沼 (松尾五色沼)
季節や時間によって色が赤、青、白に変化する神秘的な沼。色は池底から湧き出る温泉成分と微生物の複雑な反応による。
●岩手県八幡平市松尾奇木



いずはら 出流原弁天池
古くから名所として知られノスタルジックな旅館や釣り堀も隣接。水は清く、泳ぐ鯉はまるで宙を浮いているかのよう。
●栃木県佐野市出流原町